

『西川(第3期重点的撤去区域)における係留船は全て自主撤去されました!』

平成26年6月23日  
国土交通省  
遠賀川河川事務所

遠賀川河口域における不法係留船対策につきましては、西川における『第3期重点的撤去区域』内に残っていた船舶所有者(8名8隻)に対し、行政代執行法第3条第2項の規定に基づく「代執行令書」等により、平成26年5月28日付けで、6月12日に代執行を実施する旨通知しておりました。しかし、最後に残っていた2名の船舶所有者から自主撤去する旨の申し出があり、その確約も取れましたので、代執行の実施を留保しておりましたが、6月20日までに全ての船舶が自主撤去されました。よって、予定しておりました行政代執行の実施はなくなりましたので、お知らせします。

また、今後の不法係留船対策につきましては、第4期重点的撤去区域(西川の遠賀川合流点~新西川橋)の設定及び対策の進め方について、「遠賀川河口域利用対策協議会」等で議論していくこととなります。

なお、第4期以降の不法係留船隻数は下記のとおりです。

記

●第4期以降の不法係留船隻数(平成25年9月調査時点)

・第4期 . . . 252隻                      ・第5期 . . . 91隻  
・合計 . . . 343隻

※各重点的撤去区域の範囲は別紙参考図面のとおり

【同時発表記者クラブ】

北九州地区記者クラブ, 直方地区記者クラブ

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 遠賀川河川事務所

技術副所長 平松 英樹

占用調整課長 小田 誠揮

TEL 0949-22-1830(代表)

FAX 0949-23-3487(占用調整課)

～ 参 考 ～

①重点的撤去区域とは

遠賀川河口域における不法係留船対策に係る計画では、第1期から第5期まで段階的に重点的撤去区域を設定・拡大するようになっていきます。重点的撤去区域に設定された河川区域では、周辺環境の維持と治水の安全を確保するため、船舶の係留規制（強制撤去）が徹底されます。※別紙参考図面参照

－設定状況－

第1期 平成23年2月28日設定、平成23年6月1日対策実施開始

第2期 平成24年3月12日設定、平成24年4月1日対策実施開始

第3期 平成25年3月4日設定、平成25年4月1日対策実施開始

第4期 平成26年度下半期設定、対策実施開始予定

②遠賀川河口域利用対策協議会とは

国土交通省河川局（現 水管理・国土保全局）からの通達を踏まえ、行政手続きに則り設置された協議会。メンバーは、学識経験者・地元自治体代表・警察・河川管理者（国・県）で構成されています。

この協議会からの助言を受け、河川管理者が不法係留船対策に係る計画を策定し、公告することになります。

－開催経緯－

第1回 平成22年9月16日

第2回 平成23年1月26日

第3回 平成24年2月17日

第4回 平成25年1月23日

第5回 平成26年8月開催予定

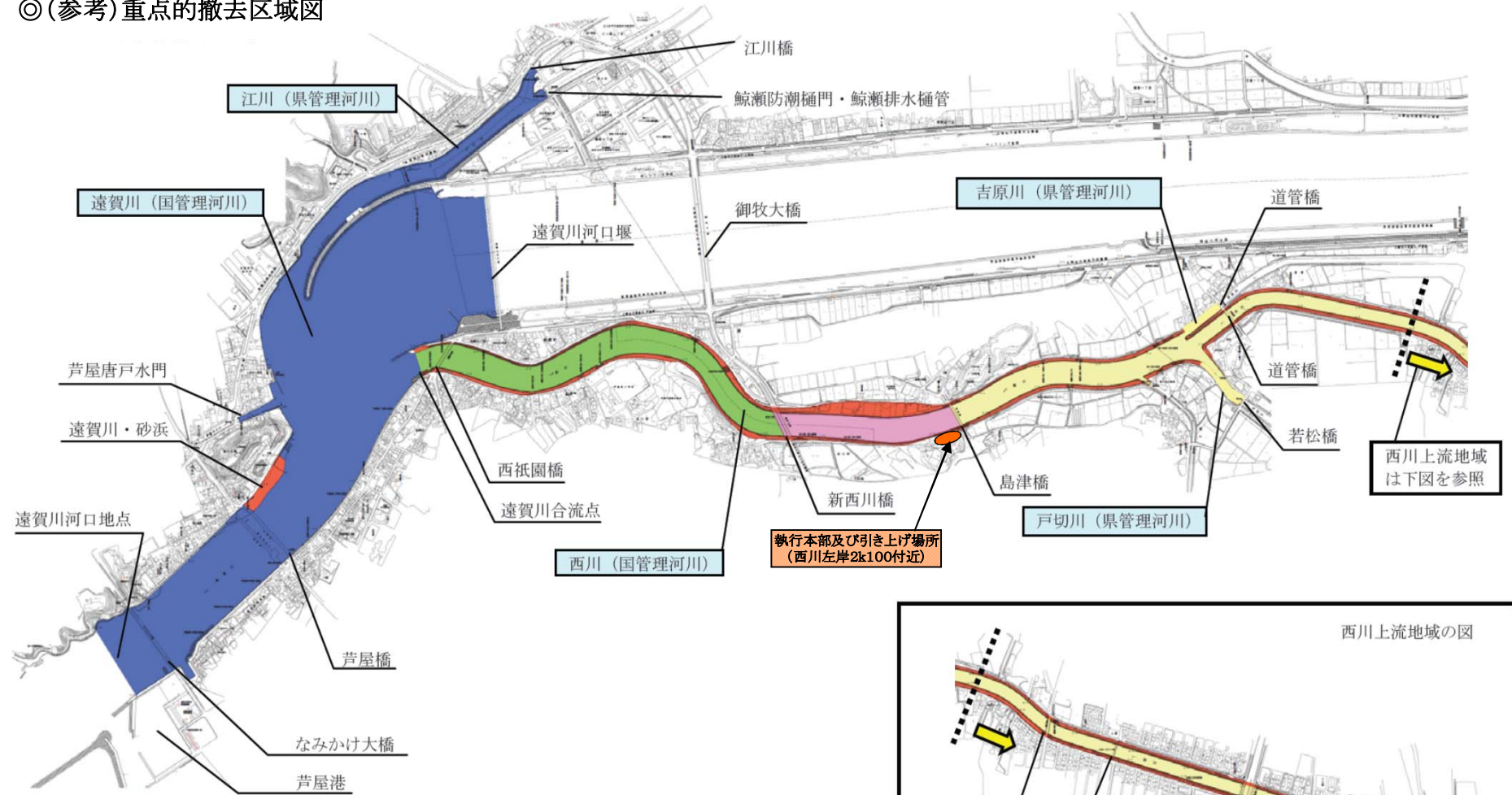
③除却（撤去）指示・強制撤去について

重点的撤去区域では、船舶の係留規制（強制撤去）が徹底されるため、所有者が判明している船舶については、河川法及び行政代執行法に基づき、船舶所有者に対し行政指導・監督処分・戒告等により自主撤去を促し、それでも自主撤去されない場合は、代執行令等の手続を経て、河川管理者が船舶所有者に代わり不法係留船を強制撤去（行政代執行）していくこととなります。

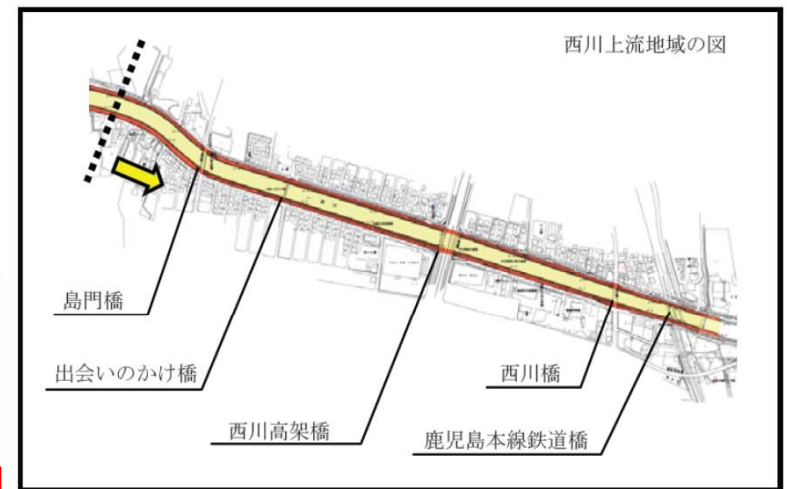
また、行政代執行に要した費用については、船舶所有者等に納付を命ずることとなり、支払を拒否した場合、行政代執行法第6条第1項の規定に基づき、国税滞納処分の例により徴収することになります。

なお、所有者が不明な船舶については、河川法第75条の規定に基づく簡易代執行等により船舶を強制撤去します。

◎(参考)重点的撤去区域図



重点的撤去区域	
<span style="color: red;">■</span>	第1期 西川 高水敷 (両岸・遠賀川合流点～鹿児島本線鉄道橋上流 100mまで) 遠賀川 砂浜 (右岸)
<span style="color: yellow;">■</span>	第2期 西川 (島津橋下流端～鹿児島本線鉄道橋上流 100mまで) 戸切川 (西川合流点～若松橋下流端まで) 吉原川 (西川合流点～道管橋下流端まで)
<span style="color: pink;">■</span>	第3期 西川 (新西川橋下流端～島津橋下流端まで) <b>※今回行政代執行の対象であった区域</b>
<span style="color: green;">■</span>	第4期 西川 (遠賀川合流点～新西川橋下流端まで)
<span style="color: blue;">■</span>	第5期 遠賀川 (遠賀川河口～遠賀川河口堰下流端・芦屋唐戸水門下流端まで) 江川 (遠賀川合流点～鯨瀬防潮樋門・鯨瀬排水樋管・江川橋 各下流端まで)



## 『第3期重点的撤去区域』にかかる行政指導等経過について

- H25.12.11 ・「第3期重点的撤去区域」係留者への説明会  
※案内状送付対象:51隻・50名(出席7名)
- H25.12.17 ・河川監理員(中間出張所長)による指示(指示書発出)  
※対象48隻  
※撤去期限H25.1.7  
※河川法第77条第1項
- H26.1.10 ・河川監理員(遠賀川河川事務所長)による指示(警告書発出)  
※対象40隻  
※撤去期限H25.1.31  
※河川法第77条第1項
- H26.2.4 ・弁明機会の付与通知  
※対象35隻  
※回答期限H25.2.12  
※行政手続法第13条第1項2号
- H26.3.17 ・河川管理者(九州地方整備局長)による監督処分(命令書発出)  
※対象35隻  
※撤去期限H25.4.17  
※河川法第75条第1項  
・不利益処分の理由の通知  
※行政手続法第14条第1項
- H26.4.23 ・九州地方整備局長による戒告(戒告書の発出)  
※対象20隻  
※撤去期限H25.5.23  
※行政手続法第3条第1項
- H26.5.28 ・九州地方整備局長による代執行令(代執行令書の発出)  
※対象8隻  
※行政手続法第3条第1項  
※代執行予定日は6月12日
- H26.6.11 ・船舶所有者から自主撤去の申し出(確約書の提出)  
※2名(2隻)の船舶所有者  
※代執行実施の留保
- H26.6.20 ・最後の船舶の自主撤去(区域外への移動)
- H26.6.21 ・全ての船舶の移動・撤去を現地確認